

平成 29 年度第 1 回庄内町スポーツ推進審議会 会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 11 月 8 日（水）午前 10 時 00 分～午後 11 時 30 分
- 2 開催場所 庄内町総合体育館（研修室）
- 3 出席者 齋藤正明、富樫希江、時吉久美子、加藤則代、佐藤正弘、小林裕之、梅木隆、齋藤雅志、遠田雅弘
- 4 欠席者 高橋たず子
- 5 事務局 社会教育課長 上野英一、社会教育課長補佐 小林重一、社会教育課主査兼文化スポーツ推進係長 阿良佳代子

- .....
- 1 開 会 社会教育課長（午前 10 時 00 分）
  - 2 委嘱状交付 教育長 ※代表受領 1 齋藤正明 氏
  - 3 挨拶 教育長
  - 4 会長及び職務代理者の選任 会長 梅木 隆 氏 職務代理者 齋藤 雅志 氏 に了承
  - 5 会長挨拶 梅木 隆 氏
  - 6 議事録署名委員の氏名 齋藤 正明 氏 富樫 希江 氏
  - 7 報 告

- (1) 平成 29 年度（上半期）社会体育事業実施状況について  
資料に基づき事務局説明

- 8 協 議

- (1) 庄内町複合型屋内運動施設（仮称）整備について  
資料に基づき事務局説明

【会 長】 説明に対して質問はないか。

【委 員】 建物は二階建てのようだが、バリアフリーを進める必要があると思う。また、駐車場整備も一体となって考えるべきと思われる。

【事務局】 新しい公共施設ですのでバリアフリーを基本としながら検討したいと考えている。また、面積についても旧余目保育園跡地が約 2,500 m<sup>2</sup>、フラワーガーデンが約 1,500 m<sup>2</sup>で合計 4,000 m<sup>2</sup>となる。現在の武道館敷地が 3,000 m<sup>2</sup>であるので、1.3 倍くらいになるので駐車場を広く設置できる。他の利用団体からも空いてる時は利用できるようにしたい。

【会 長】 現在、駐車場が少なく大変な状況があるか。

【事務局】 大会、試合等で施設利用が重なってしまう場合は、企業敷地も活用しながら台数を割当てして駐車を行う場合もある。

【教育長】 旧国道から総合体育館に入る町道が狭く感じている。大型バスが入りやすいように拡幅する必要がある。また、総合体育館の看板をもう少し大きくして目立つようにする考えも必要とも思われる。

【事務局】 現在、担当課ではフラワーガーデンの方に建物を建てたいと考えているが、埋蔵文化財のエリアのため、調査が必要となっている。もし、試掘で貴重財産が出てきた場合は、スケジュールが変更となる。

【会 長】 スケジュールはどのような考えなのか。

【事務局】 あくまでも担当課の考え方としては、来年度、検討委員会を設置しまして、整備基本計画を策定し、パブリックコメントも行う予定である。広範囲から町民のご意見を

聞くため、ワークショップ的なことも実施したい。また、整備の財源については合併特例債と考えている。合併特例債の活用期限が平成32年ということから、平成32年度までは整備を完了したいと考えている。平成31年度に基本設計と実施設計。平成32年度に建設工事と既存武道館の解体と考えているが、あくまでも担当課の考えである。

【委員】 構想案として、最終的に文末を修正したほうが良いと思われる。考え方としては将来に向けて、大変良い提案と思われる。但し、この構想のまとめかただが、余目中学校の部活動の状況と必要性を全面的に出ている感じがする。新しい施設は、社会教育施設なのか、教育施設なのかとなるので、提案が社会教育課からの提案なので総合型スポーツクラブとかを主において、加えて余目中学校のクラブ活動にも利用できるように組み立てるべきと考える。

【事務局】 基本構想策にあたっては考慮したい。

【教育長】 中学校の部活動は、今、先生方に大変負担になっており、全国的に部活動の在り方について話がされている。将来的には放課後のスポーツや文化活動は社会教育の中に取り込んでいくべきと考えている。つまり、部活動をクラブ化として、地域の指導者が責任もって指導するという体制にして、中学校の先生方には授業に専念して頂き、多忙の状況を解消する手立てとしていきたいと考えている。部活動はなるべく八幡スポーツ公園に来てもらい、地域の指導者から指導してもらおうという体制の方向付けが必要と思っている。

【委員】 余目中学校顧問の先生からも中学校のクラブ化ということも触れていたが、部活動とクラブ化ということは、この構想では整理が難しいと思われるが、見据えた形で捉えながら、発展的な設備になると思われる。

【事務局】 この基本構想は、あくまでも社会教育課の叩き台である。来年度、町民も含めた形で検討委員会を設置して整理し、肉付けしたものを策定し、パブリックコメントも行う考えであり、あくまでも町条例に基づき設置しているのが、スポーツ推進審議会であるので、当然、諮問をして答申をいただき、正式なものになると考えている。本日の基本構想の考え方をご承認頂けましたら、検討委員会、ワークショップに係る予算を来年度に要求し、次のステップに進んで行きたいと考えている。

【会長】 構想は大変素晴らしいと考えるが、町民の皆さんから二階建ての建物が実際必要なのかという意見もあると思われる。現在の柔道のスポ少の人数はどのくらいか。

【事務局】 現在の立川柔道スポ少の団員数は、16人の内5人が余目地区(4小)の団員である。

【会長】 現在、立川で柔道をしていても、将来的には余目で柔道をする方向性なのか。

【事務局】 立川の柔道場は、正式な大きさではないことと、併せて、立川地区は人口が減っているため、将来的なことを考えると余目に整備した方が良いと意見でありました。

【会長】 町民の皆さんから二階建てを納得させる必要がある。

【事務局】 現在、ご要望を頂いた限りでは二階建ては必要と思われる平屋でも建設は可能であるが、面積もそれ以上に使うため、駐車場が減ってしまう。土地を効率的に使うためにも二階建てが必要と思っている。また、公共施設にはエレベーターの設置をすることもあるため、バリアフリーの考えにつながるが、必要性も考えていく必要があると思われる。

【委員】 実際に利用する中学校生徒は、この距離には問題ないのか。

【委員】 私は今の説明を受けながら、中学校のことよりもやはり、町の施設なので軽スポー

ツや日中の活動で利用が出来る総合型の施設として活用する方が良いと思う。剣道しか使えない状況では良くないと思う。中学校からは歩いて10分で到着するくらいなので支障はない。全体をみると今回は、武道館が耐震化により建て直しをしなければならぬ状況と理解をするが、一番はこの八幡スポーツ公園をこれからどのようなイメージに作って行きたいかということが一番のメインだと考える。この部分を含めて保育園跡地に移設するという説明が大切と思う。一番は八幡スポーツ公園がどのような施設になっていくかが大事であり、町民や子ども達の夢になるような整備となって欲しい。

【委員】 全体的に構想は大変素晴らしく、急がなければならないと基本的に思う。利用団体からの声もだいぶ大きくなってきているが、文化面のことも考慮して欲しいと言う意見があったが、これは考え方によっては設備等がなんでもかんでもい形になるので、やはり、スポーツに特化していかないと整っていかないとと思う。また、文化面を考慮すると高度な機器等の設備設置が必要となってくると思われるので考慮したほうが良い。多くの声を聞いて内容を詰めていく必要がある。

【教育長】 なんでもかんでもという風にはいかない。施設で多目的施設があるが、案外、無目的施設となっている。多目的広場はあまり利用されない。利用範囲をキチッと決める必要がある。

【事務局】 現在、響ホールが十分な活動が出来ない状況があるため、新しく整備するのであれば、文化的な活動も対応できるような施設が必要という意見があったところである。特に響きホールのリハーサル室が狭いということが問題となっている。

【委員】 ダンスはやはり、体育的要素がすごく範囲しめている。トレーニング自体はスポーツそのものと思う。現在、総合体育館の受講室を使用しているが、複合型の拠点が出来たら、子どもだけでなく、現在、40代から50代のお母さんが退職したらスポーツを始めたいという方が非常に多いことから、そのような方々をターゲットとして、弾道設備が完備された室内で気軽に誰でも活動できるダンスやピラティス、健康体操が充実して安心して出来る環境がメインになると思われる。保健福祉課からは寒いところでは活動をしないように言われているが環境が整っていない状況にある。しかし、この構想で現状をひとつでも解決できることから町民の賛同は得られると思われる。素晴らしい視点でストーリーが描けると考えると嬉しくなる。1分、1秒でも早く完成して欲しいと考えている。

【委員】 防音のことは、ぜひ、お願いしたい。また、スペースがあれば、談話室みたいな場所があれば良いと思われる。エレベーターは設置なるのか。

【事務局】 エレベーターについては、基本的には設置となっているが、絶対ではない。

【教育長】 八幡スポーツ全体を考えるとカフェをつくりたいと考えている。しかし、すべての場所にカフェを作っていくのではなく、公園内に1箇所、キチッとしたものが整備できれば、施設に整備する必要はないと考える。すべてに作るとスペースが勿体ないと考える。

【委員】 八幡スポーツ公園構想はあるのか。

【事務局】 現在はないと思われる。

【委員】 旧余目時代の何10年前にはあった。第三学区の皆さんで桜の木を残して整備していく考えや要望が地元から声があがったが、合併により置き去りにされた。

【委員】 旧余目時代にあった。どう整備するか。公園を整備するたびに構想内容も変更して

いる。その都度、その都度、構想が変わっている。今後、シッカリとした構想をどうつくっていくかが大切である。

【事務局】 来年度、新しい施設の基本整備計画をつくりたいと考えている。八幡スポーツ公園は具現化となったが、完成して数年経ち、様々な課題がみえてきた。そうしたことを踏まえながら、第二次八幡スポーツ公園基本構想的なものをつくって、その中でこの度の多目的施設を位置づけしていく必要が考えられるので、八幡スポーツ公園基本構想と武道館整備基本構想の二本立てが良いと考えられる。

【会 長】 やはり、総合体育館が完成した際にスポーツ公園構想が出来たと思われる。

【事務局】 本日は新しい施設のみならず、駐車場やカフェについて、アクセス道路、看板についてもご意見を頂きました。それを総合的に再構築していく必要がある。

【委 員】 当初の計画ではクラブハウスやカフェも含まれていた計画だった。

【委 員】 良いものをつくるいろいろなものが来るのでよろしくお願ひしたい。

【委 員】 総合体育館の場所がわからないという方に対して、総合体育館の場所をどう説明するか困る場合がある。

【委 員】 総合体育館付近には、町民だけでなく町外からも人が来るのでPRを含めて欲しい。町全体として商工会ともタイアップしていく必要があると思われる。宿泊施設がなく、使い悪い状態なので構想が必要と感じている。セミナーハウスも必要。

【事務局】 町づくり全体に関係する。

【会 長】 それでは、本日説明あったように、今後、進めていくということで委員の皆さんからお願いしたが良いか。

出席委員全員、了承。

(2) その他 特になし

9 その他

10 閉 会 (午前 11 時 30 分)